

今後処置する指示改修案件

2004年6月2日 2004年6月3日 *1 不具合内容追記
 2004年6月9日 *2 車種、年式修正
 2004年6月16日 *3 届出に伴う、車種、台数修正
 2004年6月23日 *4 届出に伴う、台数、車種名、件数欄形態修正
 三菱自動車工業(株)

[リコール該当案件]  :No.欄網掛けは6/30届出予定案件

 既届出案件

No	項目	対象車種 *2 [販売名] *4	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4			怪我 *4			不具合内容 *1	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 -01/3	01/3 - 04/5	指示発行時点 -01/3	01/3 - 04/5	指示発行時点 -01/3	01/3 - 04/5				
1	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。 (オイル通路未貫通の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	141	-	95/12	-	-	3	0	0	0	0	0	0	0	0	シリンダヘッド加工工程でドリル折れを自主検査で発見し不良品を選別・修正したが、処置の実施に不備があり不良品が流出した。オイル加工穴未貫通の場合、カムシャフト焼けあるいは異音の不具合が発生する恐れがある。	*6/18 リコール届出済
2	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。 (オイル通路加工不良で潤滑不良の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	1,393 *3	-	95/12	-	-	9	2	0	0	0	0	0	0	0	シリンダヘッド加工工程でドリル折れによりカエリが発生し切粉が残留しているのに気付かず不良品を流出させた。 切粉詰りによりオートラッシュアジャスタへのオイル供給量が不足しオートラッシュアジャスタ異音が発生する恐れがある。	*6/18 リコール届出済
3	急発進・過積載等過酷な条件下でエンジンのロールが大きい時、エンジンオイルクーラーホースと牽引フックが接触しオイルクーラーホースが損傷の恐れ。	92,93年式 ミラージュ ランサー リベロ	19,802 *4	3,367	94/01	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	エンジン挙動が開発時の想定より大きく、使用条件(急発・急加速)によってはホースとトーンフックブラケットが干渉し、オイルクーラーホース破損、オイル漏れの恐れがある。	
4	ヒューエルリターンパイプ表面処理不良によりメッキが剥離しパイプが腐食する恐れ。	96年式 ミニキャブ プラボー *4	599 *4	-	97/01	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	パイプ製造工程の電解脱脂作業不良によるメッキ密着不良品が流出、最悪の場合、腐食が進行し穴があった場合、燃料が漏れる恐れがある。	
5	燃料タンク部の低圧燃圧レギュレーターに被されている防水キャップが未装着の恐れ。	97.5年式 レグナム *3	33	-	97/07	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	燃圧レギュレーター防水キャップを間違えて取り外してしまった作業者がいた。レギュレーター被水、腐蝕しエンジン不調及び腐蝕進行時、最悪燃料漏れに至る恐れがある。	*6/18 リコール届出済
6	ヒューエルタンク近辺にあるハイプレシャーホースとパイプの結合部位にあるクイックコネクターのパイプへの挿入が一部不完全なものが流出した恐れ。	98年式 パジェロ	3,300	-	97/07	-	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	作業者の不慣れによりクイックコネクターの挿入が不十分で、燃料漏れの恐れがある。	*6/18 リコール届出済
7	メインマフラーインレットパイプ前取付け部に亀裂が発生する恐れ。	95年式 デリカ [スペースギア] *4	2,216 *4	696	95/10	-	-	28	0	0	0	0	0	0	0	0	2WD 1500rpm走行帯で、振動の為メインマフラーインレットパイプ前側取付部が疲労破壊し排気ガスが漏れる恐れがある。	
8	クランク角センサハーネスがパワステベルトに接触し損傷する恐れ。	97年式 ギャラン	2,534 *4	-	96/09	-	-	2	6	0	0	0	0	0	0	0	クランク角ハーネスの取り回しのバラツキによりパワステベルト側にたわんだ場合、ベルトと接触しハーネスが損傷することによりエンストする恐れがある。	
9	過給圧制御用バキュームホースが折れ曲がりホースが閉塞する恐れ。	95年式 ランサー エボリューション	5,142 *4	-	95/05	-	-	17	1	0	0	0	0	0	0	0	ホース長が短く、取り直しによってはホースが折れ曲がり閉塞し、ガスケツト吹き抜け、白煙吐出、最悪ピストン損傷に至る恐れがある。	
10	アクセルワイヤブラケットが単体加振テストにて、破損する可能性を確認。	97年式 パジェロ	577 *4	-	96/05	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アクセルワイヤブラケットの共振点(上下方向)が5400rpm相当に有る為、応力が疲労限界を超えアクセルワイヤブラケット及び、ブラケットステーの下側取付部より破損した。高回転域での共振の為、早期破損はないが、そのまま使い続けると最悪、ブラケットステーの下側取付部より破損し、アクセル操作不能に至る恐れがある。	

No	項目	対象車種 *2 [販売名] *4	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4			怪我 *4			不具合内容 *1	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5				
11	シフトケーブル取付ナットの締付けトルク不足の恐れ。	96年式 ミニキャブ	6,168 *3	-	96/03	-	-	5	0	0	0	0	0	0	0	0	締め付け作業のミスにより、トルク不足品が流出した。ナットが使用過程で緩み脱落、最悪の場合シフト不能となる恐れがある。	*6/18 リコール届出済
12	FF用4A/T搭載車で、エンドクラッチリテーナ用オイルシールに不良の恐れ。 (補用品搭載車両の対応指示)	92～94年式 (補用品搭載車) ミラージュ ランサー リベロ シャリオ RVR ギャラン デボネア ディアマンテ	354 *4	-	94/04	-	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	AT内部の、4速で作動するクラッチの油圧を保持しているゴム製オイルシールに亀裂が発生し油圧が低下することにより、クラッチが滑る場合があり、アクセルペダルを踏んでも加速できなくなる恐れがある。 (生産車のリコール対象期間内に製造された補用品への対応指示)	
13	リヤプロベラシャフトとリヤデフの結合ボルト/ナットの締付けトルク不十分な恐れ。	95年式 パジェロミニ	129	-	95/04	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	生産ラインにてトルクチェック作業が一部車両で洩れた。使用過程においてボルトが緩み、振動が発生し、最悪の場合プロベラシャフト脱落に至る恐れがある。	*6/18 リコール届出済
14	バトカーのフロントロワーアームにアームとパイプの溶接が不完全な恐れ。	92年式 シグマ	202 *4	-	94/11	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	ロアアームとパイプの溶接が一部不足していた(全周溶接されていなかった)。使用過程において折損、操安性不良が発生する恐れがある。	
15	リヤブレーキチューブの組付時に、一部の車両においてチューブが変形した可能性があり、リヤショックアブソーバと干渉し損傷の恐れ。	95年式 デリカ [デリカスペースギア] *4	3,130 *3	399 *4	95/04	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	リヤブレーキチューブ組付け時、チューブを変形させた為、チューブとショックアブソーバが干渉・損傷しブレーキ効き不良に至る恐れがある。	*6/18 リコール届出済
16	パーキングブレーキペダルを踏んでもラチェットボールがロックされない為、ペダルが戻ってしまう。	95年式 ディアマンテ	2,614 *4	-	95/05	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ラチェットボール穴加工が小さく、ペダル踏み込み時にラチェットが保持出来ず、パーキングブレーキが正規に作動しない恐れがある。	
17	ホーンコンタクトリングの取付け(かしめ)が不十分であり、使用過程で当該リングが脱落する恐れ。	96年式 リベロ ランサー ミラージュ	2,599 *4	1,458 *4	97/05	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	コンタクトリングをカシメる際のエア圧不足により、カシメ不十分な物が有り、コンタクトリング脱落によりホーン不鳴となる恐れがある。	
18	テールゲートガススプリング取付部の強度不足により、テールゲートの開閉頻度が高い車両でガススプリング取付部が破損する恐れ。	92年式 リベロ	49,222	26,139 *4	94/01	-	-	43	15	2	0	0	0	2	6	1	開閉動作によりガススプリング取付部(テールゲート側、クォーター側)が疲労破損し、ゲートの保持が出来なくなる恐れがある。	
19	助手席エアバックモジュールAss'y内のインフレーターに、気密性不良なものを誤って組付けてしまった。	97年式 ギャラン レグナム *2	115	35 *4	97/03	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	インフレーター封入ガス気密性不十分な物が有り、エアバックが作動した際、エアバックの展開が遅れ、最悪の場合、前面衝突時に乗員に過度の障害を与える恐れがある。	*6/4 リコール届出済
20	マニュアルトランスミッションのアイドルアップ回路用ダイオードハーネスが損傷・ショートする可能性の未然防止処置。	94年式 ミニカ ミニカトップ	20,342	-	94/02	-	-	7	7	0	0	(焼損1件)	0	0	0	0	ハーネス取りまわし作業のバラツキによりクラッチペダル操作時、アーム上部とハーネスが干渉・ショートし、ラジエータファン停止、始動不良、ランプ類不灯となる恐れがある。	*6/18 リコール届出済
21	ディーラOPのフロントフォグランプ装着車でヘッドランプ用サブフューズリリングの溶断の恐れ。	94年式 RVRスポーツ ギア	13,381 *4	-	94/04	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	ヒューズリリングの容量設定が不適な為、溶断し、ヘッドランプ不灯となる恐れがある。	
22	フロントハーネスが左フレームへ干渉し、ハーネス被覆が破れショートする恐れ。	95年式 デリカ [デリカスペースギア] *4	2,521 *3	-	94/11	-	-	1	8	0	0	(火災2件 焼損2件)	0	0	0	0	配線経路に不備が有り、ヒューズが溶断し始動不能、変速不良の発生する恐れがある。	*6/18 リコール届出済

No	項目	対象車種 *2 [販売名] *4	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4			怪我 *4			不具合内容 *1	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5		
23	ISCハーネス/車速センサーハーネスの断線不具合に対する未然防止措置。	95年式 FTO	13,680 *3	-	95/08	-	-	1	3	0	0	0	0	0	0	0	作業指示不足により、取り回しに不備が発生し、又、ガイド部処理不良の為、ハーネスが断線し、エンジン不調、スピードメーターの指示不良が発生する恐れがある。	*6/18 リコール届出済
24	使用過程においてバッテリー内の極板が膨張変形し、最悪「内部ショート」による破裂が発生する恐れ。	95年式 シグマ(パトカー)	401 *4	-	96/12	-	-	9	0	0	0	0	0	0	0	0	バッテリーの信頼性が不足しており、パトカーの様な長時間アイドルによる高温条件下ではエンジンルーム内温度上昇により、液噴きする場合があります、始動不能となる。	
25	コントロールハーネスとサーモスタットケースが擦られてハーネスに傷が付く恐れ。	97年式 ギャラン	447 *4	-	96/11	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	ハーネスとサーモスタットケースの隙間が不足しており、ハーネス損傷、ショートし、AT3速固定、メーター指示不良となる恐れがある。	
26	ウォーターポンプボデーのタイミングベルト用アイドルプーリー取付けボス部破損の恐れ。	93年式 リベロ ギャラン シャリオ RVR (上記車種のうちディーゼル車)	4,186 *4	-	93/05	-	-	69	4	0	0	0	0	0	0	0	ウォーターポンプボデーのボス部が強度不足の為、破損し水漏れになる。そのまま走行すると共締めのアイドラープーリーが脱落、その結果タイミングベルトがずれてバルブとピストンが干渉、最悪 走行不能となる恐れがある。	
			155,228 *4	32,094 *4														
			187,322 *4															

[改善対策 該当案件]

No	項目	対象車種 [販売名]	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類		不具合件数			事故の有無 (*Fは火災)			怪我			不具合内容 *1	備考
			国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5	指示発行時点 -01/3	01/3-04/5				
1	燃料残量が1/4以下の時に高速道路等走行中エンストの恐れ。	93,94年式 RVR、RVRスポーツギア	8,722 *4	-	93/11	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	高速走行時、ヒューエルフロートAss'y部が車体振動に共振し、バルブ部のフロートが密着不良を起こしエアを吸い込みエンストする恐れがある。	
2	燃料が少ない時の登坂走行や発進加速時に息付き及びエンストの恐れ。	95年式 ダイヤモンド	2,660 *4	-	95/04	-	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	ヒューエルタンク内部のリザーバーカップが前後逆に取り付けられた物が有り、登坂・急加速時にエンジン息付き、若しくはエンストが発生する恐れがある。	
3	オルタネータードライブベルトが過張力気味に調整された場合、芯線の負荷が大きくなり早期に摩耗する恐れ。	92-95年式 ミラージュ ランサー リベロ ギャラン シャリオ RVR RVRスポーツギア (上記車種のうちディーゼル車)	43,504 *4	-	94/12	-	-	11	7	0	0	1	0	0	0	0	AT車でオルタネータードライブベルトが過張力気味に調整された場合、エンジンのトルク変動が大ききこともあり、芯線の負荷が大きくなると摩耗が促進しベルト切れに至る恐れがある。	
4	旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れ。	96年式 ギャラン(タクシー)	12	-	96/01	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	LPG車において、ペーパーライザーの2次ダイヤフラム慣性重量が過大で横Gを受けたときに2次バルブが閉じてしまい燃料遮断され、左旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れがある(小回り時に発生)。	*6/18 改善対策届出済
			54,898 *4	0														
			54,898															